

## 総合評価

	カテゴリ	重み付け (%)	自己評価	評価者の見積もり
I	地質と景観			
1.1	領域	5	0	0
1.2	地質保全	20	0	0
1.3	自然遺産・文化遺産	10	0	0
II.	運営・管理体制	25	0	0
III	情報と環境教育	15	0	0
IV	ジオツーリズム	15	0	0
V	持続可能な地域経済	10	0	0
	計	100	0	0

## 評価者

氏名	所属・役職	日付
氏名	所属・役職	日付

# I 地質と景観：領域

1. 領域			配点	自己評価	評価者採点	
1.1	活動の対象となっているジオサイトが、リストに示されている。	ジオサイトは20ヶ所以上必要。地形学的・地質学的価値を持つ地域資源についての研究成果が整理され、それに基づいてジオサイトが選ばれている。地域資源の価値評価（科学的、教育的、観光的）がされている。また、疑似科学的な評価をしていない。	20ヶ所以上 40ヶ所以上	100 200		
<b>最大</b>			<b>200</b>	0	0	
2. ジオ多様性			配点	自己評価	評価者採点	
2.1	当該地域の地質には、地質年代区分上の「紀」がいくつ存在するか。	各地質体の地質時代が科学的に評価され、認識され、それらがリストに示されている。	各紀10点、最大で100点。	100		
2.2	当該地域には、岩石の種類がいくつ存在するか。	岩石の種類が科学的に評価され、認識され、それらがリストに示されている。	各岩石10点、最大で100点。	100		
2.3	当該地域には、顕著な地質学的特徴、顕著な地形学的特徴を持つものが、いくつ存在するか。	岩石の種類が科学的に評価され、認識され、それらがリストに示されている。	各地点につき10点、最大で100点。	100		
<b>最大</b>			<b>300</b>	0	0	
3. ジオパークの興味深いサイトの一般向け解説			配点	自己評価	評価者採点	
3.1	一般向けの説明案内（遊歩道、解説板、解説リーフレットなど）を持つサイトの数。	解説板とリーフレットがともにあるジオサイトは、1ヶ所として評価する。複数のジオサイトをつなぐ遊歩道は、サイトの数を評価する。そのリストを示す。	5ヶ所以上 10ヶ所未満 10ヶ所以上 20ヶ所未満 20ヶ所以上	40 80 120		
3.2	科学的重要性を持つジオサイトの割合	そのリストを示す。	全サイトに対して25%以上。	40		
3.3	教育活動に用いられるジオサイトの割合	そのリストを示す。	全サイトに対して25%以上。	40		
3.4	ジオツーリズムに用いられるジオサイトの割合	そのリストを示す。	全サイトに対して25%以上。	40		
3.5	ジオパーク活動に組み込まれている、地質学的要素を持たないサイト	そのリストを示す。		40		
<b>最大</b>			<b>200</b>	0	0	
4. 既存のユネスコジオパーク (UGGp) との比較			配点	自己評価	評価者採点	
4.1	既存のUGGpと同種のものはない			300		
4.2	同種の地質学的特徴を持つUGGpが存在する			200		
4.3	国内に、同種の地質学的特徴や設備を持つUGGpが存在する。			100		
4.4	国内の同じ地方に、同種の地質や設備を持つUGGpが存在する。			50		
<b>最大</b>			<b>300</b>	0	0	

項目	日本版としての解説	基準	配点	自己評価	評価者採点
			700	0	0

# I 地質と景観：地質保全

1. ジオサイトの台帳と特徴			配点	自己評価	評価者採点
1.1	国際的な地質学的、地形学的重要性を持つジオサイトが、すくなくとも1ヶ所ある。	リストと詳細を示す。	各サイトにつき100点		
1.2	日本における重要なジオサイトが、最低でも5ヶ所ある。	リストと詳細を示す。	100		
1.3	教育的意義があり、学校教育や大学で利用されているジオサイトが最低でも20ヶ所ある。	リストと詳細を示す。	100		
1.4	ジオサイトのデータベースがある。	詳細を示す	50		
1.5	ジオサイトを示した地図がある。	詳細を示す	50		
			<b>最大</b>	<b>300</b>	0
2. 保護戦略 (1つ選ぶ)					
2.1	地質学的価値を保護するために、申請地域全体の保護の法律、条例がある。		300		
2.2	地質学的価値の保護のために一部の区域が法令で保護されている。	区域と理由について示す	150		
2.3	地質遺産の破壊や持ち去りが禁止されている。		150		
			<b>最大</b>	<b>300</b>	0
3. サイトの保護の方法					
3.1	不正利用や損傷を防ぐための規制を広く告知している。		100		
3.2	ジオパークの個々のサイトにおける不正利用や損傷を防ぐための規制を告知している。		50		
3.3	監視所を設置し、監視員による監視や巡回を行っている。		60		
3.4	ウェブサイトやチラシ等で、採掘禁止や採集禁止の規制の執行を記載している。		40		
3.5	区域をさだめ、管理を行って地質標本採取を許可している。	区域を明記	40		
			<b>最大</b>	<b>200</b>	0
4. 保護対策					
4.1	定期的な維持管理と清掃	詳細を示す。チェックしている頻度。	60		
4.2	保全措置	詳細を示す	70		
4.3	修復や自然劣化に対する対策などの保護措置	詳細を示す	70		
			<b>最大</b>	<b>200</b>	0

項目	日本版としての解説	基準	配点	自己評価	評価者採点
			1000	0	0

# I 地質と景観：自然遺産・文化遺産

1. 自然遺産の評価			配点	自己評価	評価者採点
1.1	国際的に認定された価値を有する地域がある。	リストと詳細を示す。世界遺産と生物圏保存地域を除く	250		
1.2	日本で価値が認定された地域がある。	リストと詳細を示す。	150		
1.3	都道府県で価値が認定された地域がある。	リストと詳細を示す。	75		
1.4	市町村で価値が認定された地域がある。	リストと詳細を示す。	50		
<b>最大</b>			<b>300</b>	0	0
2. 文化遺産の評価			配点	自己評価	評価者採点
2.1	国際的に認定された価値を有する地域がある。	リストと詳細を示す。世界遺産と生物圏保存地域を除く	250		
2.2	日本で価値が認定された地域がある。	リストと詳細を示す。	150		
2.3	都道府県で価値が認定された地域がある。	リストと詳細を示す。	75		
2.4	市町村で価値が認定された地域がある。	リストと詳細を示す。	50		
<b>最大</b>			<b>300</b>	0	0
3. 自然遺産・文化遺産の利用促進			配点	自己評価	評価者採点
3.1	自然サイト・文化サイトを、地質遺産サイトに関連づけを促進している	ツアーの実施例、教材、研究事例について詳細を示す。	100		
3.2	解説・案内について	詳細を示す。	100		
3.3	コミュニケーションの状況について	詳細を示す。	100		
3.4	教育プログラムについて	詳細を示す。	100		
<b>最大</b>			<b>400</b>	0	0
4. ユネスコ認定地域との重複			配点	自己評価	評価者採点
4.1	ジオパークの全体もしくは一部が世界遺産あるいは生物圏保存地域と重なっている		はい/いいえ		

項目	日本版としての解説	基準	配点	自己評価	評価者採点
			1000	0	0

## II 運営・管理体制

1. 運営組織は、どのような団体などで組織され、その構造はどうか。		配点	自己評価	評価者採点
1.1	ジオパークの境界は明確に定められているか。	50		
1.2	運営組織は地質遺産の保護や地域の持続可能な開発の促進などについて、判断し、実行する能力があるか。	50		
1.3	ジオパークのスタッフは、ジオパーク活動をすすめる組織に、直接または間接的に雇用されているか。	50		
1.4	独自予算を持っているか。	50		
		<b>最大</b>	<b>200</b>	<b>0</b>
2. 管理計画・基本計画について				
2.1	過去10年以内につくられた、管理計画あるいは基本計画がある。	40		
		<b>最大</b>	<b>40</b>	<b>0</b>
3. 計画に以下の項目はあるか				
3.1	地球の遺産（ジオサイトと景観）	10		
3.2	その他の自然・文化遺産	10		
3.3	自然遺産と文化遺産の関連性	10		
3.4	観光開発	10		
3.5	教育活動	10		
3.6	地域振興	10		
3.7	地域特産品（農業ツーリズム）	10		
3.8	地域社会との連携	10		
3.9	財政計画	10		
3.10	マーケティング戦略	10		
3.11	管理運営の分析	20		
3.12	地質資源やその他の資源についての価値の審査	20		
3.13	以下の分野での目指す姿・目標値など			
		地質学	5	
		景観保護	5	
		観光	5	
		農林水産業	5	
3.14	地域発展の方向性ととの整合性の検討。	10		
		<b>最大</b>	<b>160</b>	<b>0</b>
4. ジオパークとしてのマーケティング戦略はあるか				
4.1	過去10年以内につくられたマーケティング戦略がある	50		
		<b>最大</b>	<b>50</b>	<b>0</b>
5. 地質遺産の保護と持続可能なジオツーリズムの創出について何をしてきたか				
5.1	観光事業の中心となる区域の確定	25		
5.2	保護や研究を目的とした観光禁止区域の確定	20		
5.3	交通を規制し、減量させるための対策（通行規制、駐車場の集約、交通誘導システム、標識など）	15		
5.4	環境に優しい散策路システム	10		
5.5	自転車道、乗馬道、散策道、川沿いの遊歩道などの整備	10		
		<b>最大</b>	<b>80</b>	<b>0</b>
6. 自然遺産や文化遺産の普及広報を担う部会やグループはあるか				
6.1	特定のテーマで部会などを定期的に開いている。	20		
6.2	ジオパークの活動主体、観光協会、その他の関心を持つ関係者間で個別協力や協定がある。	10		
6.3	上記以外の定期的な活動がある。	10		
		<b>最大</b>	<b>20</b>	<b>0</b>
7. 過去5年間で、地質多様性、保全、持続可能なジオツーリズムの分野で受けた賞や公的認定				
7.1	国際的な賞の受賞	名称と受賞の日付	100	
7.2	国内の賞の受賞	名称と受賞の日付	50	
7.3	その他の受賞（例えば産業界から）	名称と受賞の日付	20	
		<b>最大</b>	<b>100</b>	<b>0</b>
8. 科学的な研究を進めることのできる地質学者あるいは専門家				
8.1	地球科学または関連分野の学位を持つ常勤職員が1人以上いる。	申請機関による直接の雇用	40	
8.2	申請機関のスタッフとして地球科学または関連分野の学位を持つスタッフが5人以上いる。	協力機関による雇用	20	
8.3	生物学など上記以外を専門とする常勤職員がいる。		10	
8.4	1つ以上の研究機関（大学や国研）と定期的かつ公的に共同活動をおこなっている。		20	
8.5	以下のような人から定期的なアドバイスを受けているか。			
		地球科学専門家	15	
		地球科学の教育を受けた者	10	
		地域にいるアマチュア	5	
8.6	専門家集団の専門分野の数			
		5分野以上	10	
		5分野未満	5	
8.7	マーケティングの専門家はいるか。		5	
8.8	広報スタッフはいるか。		5	
8.9	スタッフは巡検やガイドができるか。		5	
		<b>最大</b>	<b>150</b>	<b>0</b>
9. 申請地域には、次の施設があるか				
9.1	申請機関やその協力が運営する博物館		100	
9.2	インフォメーションセンター		80	
9.3	ジオパークに関する情報や目的等を伝える簡易施設あるいは情報拠点		40	
9.4	エリア内の案内板		40	
9.5	申請機関が整備したあるいは整備に関わった探索路		40	
		<b>最大</b>	<b>200</b>	<b>0</b>

項目	日本版としての解説	基準	配点	自己評価	評価者採点
			1000	0	0

### Ⅲ 情報と環境教育

1. 地球科学の研究、情報、教育科学活動			配点	自己評価	評価者採点
1.1	ジオパークのエリア内で活動する、科学ないし学術研究機関が1つ以上ある。		50		
1.2	少なくとも年間1本、ジオパークエリア内において、卒論や修論（地質図作成など）が書かれている。		40		
1.3	過去3年間に、地域内で博士論文が発表されている。		50		
1.4	ジオパークエリア内の、科学や観光に関する学術論文が、過去5年間で5本以上発表されている。		40		
<b>最大</b>			<b>180</b>	0	0
2. ジオパークのエリア内での環境教育プログラム			配点	自己評価	評価者採点
2.1	常勤職員に、チーム内で環境教育を主な業務とする専門家がいますか。		50		
2.2	1つ以上の教育プログラムを実施しているか。	どのようなプログラムか、簡単に記述する。	30		
2.3	他機関（博物館など）が開発した公的な教育プログラムに、1つ以上、貢献しているか。		20		
2.4	ジオパークのエリアを訪れた子供たちが、個人的・個別に参加できるプログラムを実施しているか。		20		
2.5	小学生向けの特別プログラムを実施しているか。		20		
2.6	中学・高校生向けに、特別なプログラムを実施しているか。		20		
2.7	大学生向けの特別なプログラムを実施しているか。		20		
2.8	ジオパークのエリア内に、大学のキャンパスや教育センターがあるか。		20		
<b>最大</b>			<b>200</b>	0	0
3. どのような教材があるか。（現地審査で確認）			配点	自己評価	評価者採点
3.1	学校教育のための新しい教材の開発		20		
3.2	映画、ビデオ、スライドショーなど		20		
3.3	双方向の（オンラインの）教材		20		
3.4	定期的に更新する特別展示		20		
3.5	特殊な教材（パズル、特殊な道具など）		20		
3.6	8歳以下の子供を対象とした、その他の教材の開発		20		
<b>最大</b>			<b>120</b>	0	0
4. どのような出版物があるか。			配点	自己評価	評価者採点
4.1	地質遺産の保護に関するもの		20		
4.2	エリア内の地質に関するもの		15		
4.3	エリア内の地質、自然、文化を結びつけるもの		20		
4.4	エリア内の環境に配慮した行動に関するもの		15		
4.5	上記以外で、エリア内で観察できるものを自然史的観点から見たもの		15		
4.6	歴史に関するもの		15		
<b>最大</b>			<b>100</b>	0	0
5. 学校集団向けの地球科学の提供			配点	自己評価	評価者採点
5.1	ジオパークスタッフによるガイドツアー	説明と根拠	15		
5.2	協力機関によるガイドツアー	説明と根拠	15		
5.3	全ての訪問者に日常的に提供される標準的なプログラム	説明と根拠	10		
5.4	人数を限定している（ガイド1名当たり30名までなど）	説明と根拠	10		
5.5	天候などの理由でツアーが実施できない場合の、代替案は用意されているか。	説明と根拠	10		
5.6	異なる年齢層を対象としたプログラムがあるか。	説明と根拠	10		
5.7	特別な科学プログラムは用意されているか。	説明と根拠	20		
5.8	教員向けの研修は用意されているか。	説明と根拠	20		
<b>最大</b>			<b>100</b>	0	0
6. 教育ーガイド			配点	自己評価	評価者採点
6.1	ジオパーク常勤職員の中に、ガイド養成ができる適格な専門家が1人以上いる	説明と根拠	20		
6.2	ジオパーク協力機関の中に、ガイド養成ができる適格な専門家が1人以上いる。	説明と根拠	15		
6.3	ジオパーク常勤職員の中に、ガイドができる人が1人以上いる。	説明と根拠	20		
6.4	ジオパーク協力機関の中に、ガイドができる人が1人以上いる。	説明と根拠	15		
6.5	活動主体がトレーニングとプログラムを支援する、ガイド団体やフリーランスのガイドがある。	説明と根拠	20		
6.6	組織的にガイドのトレーニングを実施している	説明と根拠	20		
<b>最大</b>			<b>110</b>	0	0
7. 教育団体のジオパーク訪問促進のため、どのような情報を提供しているか			配点	自己評価	評価者採点
7.1	学校や大学に手紙を出している		20		
7.2	パンフレットの発行	学校教育に特化したもの	20		
7.3	マスコミへの発表（新聞、ラジオ、テレビ）	学校教育に特化したもの	20		
7.4	新聞やニュースレター	学校教育に特化したもの	20		
<b>最大</b>			<b>80</b>	0	0
8. 学校用のプログラムとしてインターネットの利用			配点	自己評価	評価者採点
8.1	エリア内での環境教育に関する一般向けの情報を掲載した、自前のウェブサイト		50		
8.2	教育プログラムに関する対応をEメールで行っている。		30		
8.3	定期的に電子版ニュースレターを発行		20		
8.4	活動最新情報カレンダー		20		
<b>最大</b>			<b>120</b>	0	0

項目	日本版としての解説	基準	配点	自己評価	評価者採点
			1000	0	0

#### IV ジオツーリズム

1. どのような宣伝素材が利用できるか		配点	自己評価	評価者採点
1.1	印刷物（例：リーフレット、雑誌など）	25		
1.2	一般向けの読み物（例：本、ガイド本など）	15		
1.3	CDやビデオ素材	15		
1.4	その他の宣伝用素材、製品	15		
		<b>最大</b>	<b>70</b>	0
2. 宣伝素材は何か国語で製作されているか		配点	自己評価	評価者採点
2.1	日本語	10		
2.2	英語	10		
2.3	中国語	10		
2.4	アラビア語	10		
2.5	フランス語	10		
2.6	スペイン語	10		
2.7	ロシア語	10		
2.8	その他の言語1言語につき10点（説明と根拠を）	10		
2.9	多言語での出版	10		
		<b>最大</b>	<b>80</b>	0
3. インフォメーションセンターや地域情報の展示が、ジオパークエリア内にあるか		配点	自己評価	評価者採点
3.1	少なくとも、活動主体ないしその協力機関が直接運営するインフォメーションセンターが1つある。	30		
3.2	活動主体ないしその協力機関が直接運営する情報拠点やそれに準ずる施設が地域内各所にある。	20		
3.3	ツアー時に集合場所となるインフォメーションセンターがある。	10		
3.4	インフォメーションセンターでは車いすの利用が可能か。また他の障害者にも対応できるか。	10		
3.5	地域内で参加可能な活動について、個人向けに情報提供していますか	メルマガ配信等	10	
3.6	センターは天候が許す限り年間を通して週6日以上開館しているか。	20		
		<b>最大</b>	<b>100</b>	0
4. インフォメーションセンターやサイトでの情報や解説の掲示方法		配点	自己評価	評価者採点
4.1	ふつうの固定掲示板やパネル	10		
4.2	映画、ビデオ、スライドショーなど	10		
4.3	双方向（対話型）ディスプレイ	10		
4.4	定期的に変更される特別展示	40		
		<b>最大</b>	<b>70</b>	0
5. 交通の便と設備		配点	自己評価	評価者採点
5.1	公共交通機関を使っていくことが可能か。	50		
5.2	自前の輸送手段があるか。	シャトルバスなど	20	
5.3	遊歩道やサイクリングロードに公共交通を使っていくことが可能か。	20		
5.4	活動主体が設けた遊歩道入口に直結した駐車場設備があるか。	20		
5.5	駐車場にはトイレがあるか。	20		
		<b>最大</b>	<b>100</b>	0
6. 地域内の公共交通についての利用		配点	自己評価	評価者採点
6.1	宣伝用チラシ、パンフレットやインターネットに、公共交通の情報を載せている。	20		
6.2	観光団体のウェブサイトは、インターネット上の時刻表や交通情報にリンクされている。	20		
6.3	公共交通、自転車など環境に優しい（持続可能な）方法で来園した人には、特別なサービス（ガイド料や入場料の値引きなど）を提供している。	10		
		<b>最大</b>	<b>50</b>	0
7. 観光客向けのガイド付き常設ツアー等の商品		配点	自己評価	評価者採点
7.1	地質学や地形学に特に興味のあるグループのためのツアー	単発のイベントやモニターツアーではなく、繰り返し行っているもの。予約があればいつでも対応可能であるもの。または企画券集型旅行商品。	10	
7.2	シーズン中定期的に行われるツアー	同上	10	
7.3	幅広い参加者を対象としたツアー	同上	20	
7.4	障害者用ツアー	同上	10	
7.5	悪天候によりツアーが中止になった場合に利用できる代替案	同上	10	
7.6	事前の予約不要といった、参加者向けの柔軟な予約システム（当日受付可能など）	同上	10	
		<b>最大</b>	<b>70</b>	0
8. 利用者に地域を理解してもらう方法		配点	自己評価	評価者採点
8.1	入り口付近や観光スポットなどに読みやすい説明案内板を掲示している。	20		
8.2	申請機関ないし協力機関によって整備された地質をテーマにした遊歩道が1つ以上ある。	20		
		<b>最大</b>	<b>40</b>	0
9. 他機関との間での情報共有や活動調整		配点	自己評価	評価者採点
9.1	情報や宣伝素材を共有している	20		
		<b>最大</b>	<b>20</b>	0
10. インターネットの利用とオンラインサービスの提供		配点	自己評価	評価者採点
10.1	地域の総合情報を載せた、自前のウェブサイトがある。	40		
10.2	観光協会、地域社会、地方自治体などの申請地域の幅広い情報を提供する他のウェブサイトへのリンクがある。	10		
10.3	ジオパークの運営母体とEメールで連絡がとれる	5		
10.4	定期的なニュースレターをメールで配信している。	10		
10.5	出版物のオンライン注文ができる	10		
10.6	最新の活動カレンダーが公開されている。	15		
10.7	来訪者が参加できるツアーなどが案内されている	10		
		<b>最大</b>	<b>80</b>	0
11. カヌー、サイクリング、体験プログラム等の体制		配点	自己評価	評価者採点

11.1	観光や科学的に興味深い主要地点を結ぶ一連のフットパス		10		
11.2	統一された、あるいは一定の基準の道標が遊歩道に整備されている		10		
11.3	施設等は定期的に点検し、确实迅速に補修を行う体制ができている		10		
11.4	ハイキングやサイクリング用の特別な地図や情報シートがある		10		
11.5	これまでの設問で点数に加えなかった、特定のテーマ（鉱山、考古学、建築など）に関する遊歩道が少なくとも一つある		10		
11.6	協力機関が提供する、ガイド付きの自転車や徒歩などによるツアーがある		10		
11.7	協力機関が提供する、数日にわたるパッケージツアー（例えばハイキングやサイクリングツアー）（ホテル泊、1食もしくは2食付き）があり、その申し込みができる		10		
11.8	協力機関が提供するジオパークと結びついた体験プログラムがある		10		
11.9	活動主体と協力して活動する、一定の基準に基づいたハイキングやサイクリングのためのホテルやペンションのネットワークがある		20		
			<b>最大</b>	<b>100</b>	0 0
<b>12. ジオツーリズムが目指すものを、ツアー担当者（社）に、どのように伝えるか</b>					
12.1	個人的に直接会う、そして（あるいは）申請機関に巻き込む		10		
12.2	良い実例を奨励するために定期的に表彰を行う		20		
12.3	公式な協力者／助言者／スポンサーを選任、あるいは指名する		20		
			<b>最大</b>	<b>50</b>	0 0
<b>13. 持続可能な手段で（車を使わない等）楽しめる次の様な遊歩道はあるか</b>					
13.1	ジオトレイル		20		
13.2	文化トレイル		10		
13.3	森のトレイル		10		
13.4	その他のトレイル		10		
13.5	これまでに書かれていないその他の野外活動		10		
			<b>最大</b>	<b>60</b>	0 0
<b>14. 顧客分析（マーケティング）</b>					
14.1	利用者を把握しているか		20		
		入場券／利用者カウンター	5		
		ツアーの参加者数推定	5		
		来訪者の調査	5		
14.2	利用者がどこから来たかを調べているか		15		
		予約時の住所	5		
		市場調査	5		
		大学の研究	5		
14.3	今後の計画にこうした利用者調査を用いているか		20		
14.4	利用者の社会経済プロフィール（家族構成、学年、年金受給者か、団体旅行か、など）について分析を行っているか		15		
14.5	利用者の満足度を把握するためにアンケートをしているか		10		
			<b>最大</b>	<b>80</b>	0 0

項目	日本版としての解説	基準	配点	自己評価	評価者採点
			1000	0	0



## V 持続可能な地域経済

1. 地元の食材や工芸品の販売や飲食店の利用促進のためのジオパーク独自の価値づけ		配点	自己評価	評価者採点
1.1	申請機関が開発あるいは支援した、地域の環境に配慮した食材などを販売促進している	50		
1.2	地元の環境に配慮した食材を使った料理を提供する飲食店がある	30		
1.3	ジオパークがイベント等で地元農産物や商品を販売できる機会を提供している	50		
1.4	地元の農水産物や郷土料理のためのジオパーク専用のブランド制度（統一したラベルや認証制度）がある	30		
1.5	地元の農水産物の直売	40		
<b>最大</b>		<b>200</b>	0	0
2. ジオツーリズム商品の開発と販売促進のための工夫		配点	自己評価	評価者採点
2.1	地質学的なレプリカ製品の製作推進	50		
2.2	地域産の模型やお土産がある	100		
2.3	活動主体やその協力機関が地場産品を中心に扱う小売店や販売所を運営している	50		
<b>最大</b>		<b>200</b>	0	0
3. 地域の工芸品などの価値づけや販売促進、普及		配点	自己評価	評価者採点
3.1	ジオパークが地域の工芸品の販売を積極的に支援している	50		
3.2	ジオパークの施設で地域の工芸品を展示している	100		
<b>最大</b>		<b>150</b>	0	0
4. ジオパークと地元企業との関係		配点	自己評価	評価者採点
4.1	活動主体や地元企業・団体が開発した地元の商品・サービスのブランドがある	50		
4.2	活動主体が地元商品の直売を支援している	50		
4.3	観光産業では地元企業と協力したツアーが提供されている	20		
<b>最大</b>		<b>100</b>	0	0
5. 地元企業へのジオパーク関連業務を発注		配点	自己評価	評価者採点
5.1	サービス（修繕、管理など）	50		
5.2	デザインや印刷	50		
5.3	ジオツアーやその説明案内に必要なサービス（バス会社、展示ケースなど）	80	詳細を記述	
<b>最大</b>		<b>150</b>	0	0
6. ネットワーク化		配点	自己評価	評価者採点
6.1	活動主体が援助する協力企業のネットワークがある	100		
6.2	活動主体と協力者間で正規に契約（協定）を結んでいるか、もしくはそれと同等の枠組みがある	100		
6.3	活動主体、民間企業、地方自治体間で出資する共同プロジェクトがある	50		
<b>最大</b>		<b>200</b>	0	0

項目	日本版としての解説	基準	配点	自己評価	評価者採点
			1000	0	0